

群 教 セ	G12 - 01
	平16.221集

自分の学びを表現して気づきを深める 生活科指導

- まとめの過程に気づきの視点を示す

カードを取り入れて -

特別研修員 佐藤 弓子 (富士見村立時澤小学校)

《研究の概要》

本研究は、まとめの過程に表現活動を設定し、気づきの視点を示すカードを取り入れ、視点をもとに支援していくことにより、気づきを深めることができるようにしたものである。具体的には、カードに示した視点をもとに活動を振り返り、自分の学びを表現する中で表現活動への見通しと意欲をもって取り組み、対象と自分とのかかわりについて気づきを深めたり自分や友達のよさに気付いたりしながら、自分の成長を自覚することができるようにした。
【キーワード：生活科 視点を示す カード 表現活動 気づき】

主題設定の理由

目まぐるしく変化する社会に生きる子ども達には、自ら学び、自ら考えることのできる確かな学力に支えられた「生きる力」の育成が求められている。

生活科では、思いや願いをもって対象とかかわり、直接働きかける活動や表現する活動を通して、対象とのかかわりを深めたり、自分の生活を豊かに広げたりしていくことを目指している。このような具体的な活動や体験をする過程で、対象とのかかわりを深めながら自分や対象について様々なことに気付いていくことは、「生きる力」を育むことにつながると考える。

本学級の児童の実態をみると、何事にも意欲的に取り組み活動を楽しむことができるが、問題意識をもって活動したり、気づきを深めたりすることが苦手な面がみられる。みんなの前で、自分の思いや願いを発表することが恥ずかしいと感じている児童もいる。それらの原因として、まだ学校生活に慣れていないことや、自分の考えや行動に自信がもてないことなどが考えられる。また、自分の思いや願いを表現する経験や、表現する楽しさを感じることも少なかったのではないかと考える。

児童は、自分が主体的に取り組んだり、わくわくするような体験をしたりしたときは、「やってみたくてたまらない」「伝えたくてたまらない」思いを抱き、自分自身や自分の生活についての様々な気づきがある。それらの学びを改めて表現することにより、今まで気付かなかったことに気付いたり、さらに気づきを深めたりすることができる。また、表現することに自信をもったり成就感や満足感を感じたりすることもできるであろう。

そこで、まとめる過程での表現活動に視点をあて研究したいと考えた。思いや願いをもって対象とかかわる活動に続いて、表現活動を設定する。この活動では、表現方法の選択、表現内容の決定、制作、リハーサルや発表会などを行いながら自分の学びを振り返る場面が考えられる。それぞれの場面で、対象についての気づきを深められるような視点を示すカードを取り入れ適切な支援をすることにより、気づきを深めていくことができる。また、表現することにより自信をもったり成就感や満足感を感じたりすることもできるであろう。

表現方法選択の場面では、視点を示すカードにより自分なりの見通しや意欲をもつことができるようにする。表現する内容について考える場面では、視点を示すカードにより対象についての気づきを深められるようにする。リハーサルや発表では、視点を示すカードの視点をもち

て発表することにより、自信をもって表現することができるようになるであろう。表現活動についての振り返りの場面では、視点を示すカードをもとに自分の学びを振り返る中で、自分の成長を自覚したり次の活動についての意欲や自信をもったりすることができると思う。

以上のように、自分の学びを表現する活動に、気付きの視点を示すカードを取り入れ、表現活動のための視点を示すことにより、気付きを深めることができると考え、本主題を設定した。

研究のねらい

自分の学びを表現する活動に、活動の見通しや学びを見つめるための視点を示すカードを取り入れれば、気付きを深めることができることを実践を通して明らかにする。

研究の見通し

- 1 自分の学びを表現するための方法を選択する場面に、視点を示すカードを取り入れ、色々な表現方法の特色を示して支援していけば、表現活動についての見通しと意欲をもつことができるであろう。
- 2 制作の場面に、視点を示すカードを取り入れ、表現する内容についての視点を示し、活動を支援していけば、対象と自分とのかかわりについての気付きを深めたり、自分や友達のよさに気付いたりすることができるであろう。
- 3 表現活動についての振り返りの場面に、視点を示すカードを取り入れ、気付きを深める視点を示して支援していけば、これまでの学びを振り返りながら、自分の成長を自覚し新たな学びに対する意欲や自信をもつことができるであろう。

研究の内容と方法

1 研究の内容

(1) 自分の学びを表現して気付きを深めるとは

児童は、主体的に対象にかかわる活動を通して、思いや願いをもったり自分と対象とのかかわりに気付いたりする。それらの学びを表現しようとするとき、活動で利用した資料などをもとにして振り返ることになる。どんな方法で、どんなことを表現するかを考え、それぞれの表現方法の特色を生かして気付きを深めていくのである。また、表現活動に取り組む中で、曖昧なことについてもう一度確認するために活動したり、新たな疑問や考えが生まれた時にその解決に向けて友達と一緒に活動したりすることを通して、対象についての気付きを深めたり自分や友達のよさに気付いたりすることである。さらに、これまでの学びを振り返り自分の成長に気付いたり、新たな学びに対する意欲や自信をもつことである。

(2) 視点を示すカードとは

対象への気付きを深め、主体的に表現活動に取り組むために、児童に気付きの視点を与えるカードである。表現活動のそれぞれの場面で、児童が方向性を見いだしたり、具体的な活動ができるためのものである。それぞれの活動の際に示していくものなので、カードにはその場面にあった名称を付け、個々の児童に渡したり拡大して掲示したりできるようにする。

ア 表現方法の選択の場面では、いくつかの表現方法の特色を視点（できるかなカード）として、次のようなものが考えられる。

- 劇...人との会話が分かりやすい。登場人物が分かりやすい。体を使ってせりふを言う。ペープサート...人やものを描いて動かすことができる。人形を動かしてせりふを言う。紙芝居...特色を絵に描くので分かりやすい。絵を描いて文を読む。ニュース番組...伝えたいことをくわしく記事に書ける。ニュースの記事を書いて読む。クイズ...自分の伝えたいことを、印象付けて表現することができる。問題と答えを言う。
- イ 制作の場面では、表現する内容を焦点化できる視点（かんがえようカード）や新たな気付きを促す視点（こうしようカード）として、次のようなものが考えられる。
- ・どんなものがあつたか・何のために使うか・どんなことがあつたか・生活している人はどんなことをしていたか。
 - ・自分とのかかわりは何か・自分の考えと違っていたことは何か。（かんがえようカード）
 - ・かかわりを持った人に伝えたいこと・人とのかかわりで、自分はこれからどうしたいか・友達の考えのいいところを見つけよう・もっといい方法をアドバイスしよう。（こうしようカード）
- ウ 表現活動の振り返りの場面では、自分の成長を自覚し新たな学びに対する意欲や自信をもつことができるような視点（がんばったよカード）として、次のようなものが考えられる。
- ・自分とのかかわりが分かったか・自分はこれからどのようにかかわりたいか・できるようになったこと
 - ・またやってみたいこと

2 研究の方法

研究の見通しに基づき、次のような方法で授業実践を行い、検証する。

(1) 授業実践計画

対象	富士見村立時澤小学校 1年29名（男子18名 女子11名）		
期間	平成16年 9月～10月	単元名	がっこうたんけん
抽出 児	A男：活動的で興味や関心のあることには意欲的に取り組むが、じっくりと考えたり話し合ったりして気付きを深めることにやや苦手意識がある。活動中の気付きを取り上げ、自信をもたせたい。 B子：自分の考えや気持ちを言葉や動作で表現したり、気付いたことを記述する力があり、着眼や発想に独自性がある。自分や友達のよさを見つけられるようにして、活動が広がるよう支援していきたい。		

(2) 検証計画

検証項目	検証の観点	検証の方法
見通し1	表現方法の選択の場面で、「探検したことをみんなに伝えよう」と投げかけ、「できるかなカード」（表現方法の特色）の視点をもとに、どんな方法で伝えるかを話し合い、表現方法を選択したことは、対象とのかかわりや気付きを表現する活動についての見通しと意欲をもつのに有効であったか。	・「できるかなカード」 ・行動観察 ・話し合い活動 ・つぶやき
見通し2	「かんがえようカード」（表現する内容）「こうしようカード」（新たな気付きを促す）の視点をもとに表現する内容を話し合ったり学びを振り返ったりして、友達と一緒に制作したことは、対象と自分とのかかわりについての気付きを深めたり、自分や友達のよさに気付いたりするのに有効であったか。	・「かんがえようカード」 ・「こうしようカード」 ・行動観察・話し合い ・つぶやき
見通し3	「がんばったよカード」（気付きを深める）の視点をもって自分の活動を振り返ったことは、自分の成長を自覚したり次の学習に対する意欲と自信をもつのに有効であったか。	・「がんばったよカード」 ・発表・感想 ・話し合い

研究の展開

1 単元の構想

本単元は、内容（1）にあたり、学校探検を通して学校の施設の様子及び学校を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにすることをねらいとしている。 つかむ過程では「学校のひみつを探そう」と投げかけ、探検したいことについての思いや願いをもつ。 追究する過程では、自分なりの思いや願いに沿って学校を探検した後、班を作って課題をもって探検する。それらの活動を通して体験したことや発見したこと、気付いたことなどについて、みんなに伝えようと投げかける。 まとめる過程では、これまでの学びを想起し、班で話し合いながら表現方法の特色をつかんで、やりたい表現方法を選択する。これまでの学びの記録や写真などをもとに自分と対象とのかかわりを振り返りながら、表現する内容を考え話し合う。友達と協力して作品を作り上げていく活動の中で、新たに生じた疑問や考えについて再度見たり聞いたりしながら確かめたり、足りないものを補ったりする。班ごとに練習をして、できあがった作品を発表するための発表会を開く。発表会の後には、表現活動について振り返りながら自己評価して、自分の成長を自覚したり新たな学習への意欲や自信をもったりできるようにする。

2 目標及び評価規準

目 標	学校を探検したり学校を支えている人々とかかわったりすることを通して、学校の施設の様子及び学校を支えている人々や友達のことが分かり楽しく安心して遊びや生活ができる。
--------	---

評価	○思いや願いをもって主体的に探検したり、学校で生活している人々とかかわったりしようとしている。(関心・意欲・態度)
規	○学校の施設の様子や、学校を支えている人々の仕事などについて考え、気付いたことを自分なりの方法で表現できる。(思考・表現)
準	○学校の施設の様子、学校を支えている人々の仕事や学校で生活している人々の様子に気付く。(気付き)

3 指導計画(全18時間予定)

○...関心・意欲・態度 ...思考・表現 ...気付き

過程	時間	主な学習活動	支援及び留意点	見取りの視点 (見取りの方法)
つかむ	1・2	・探検してみたい場所や、やってみてみたいことについて考える	・簡単な学校の模型を提示して教室の配置について考えさせる。 ・学校の施設の写真を示して、学校探検についての意欲をもたせる。 ・学校探検の視点を提示して、自分の思いや願いをもてるようにして、「学校のひみつを探そう」と投げかける	○学校探検の意欲や思い願いをもっている。(観察)
まとめる 8時間	9	・表現する方法を選択する (見通し1)	・活動したことを想起しながら「できるかなカード」で劇・ペープサート・紙芝居・探検クイズ・ニュース番組のよさや表現の方法などについて示し、班ごとにできそうなことを選択できるようにする。	できるかなカードをもとに表現方法を選択し計画を立てている。(話し合い)
	10	・制作する (見通し2)	・表現する内容について考える際、「かんがえようカード」の視点をもとに活動を振り返ったり話合ったりできるようにする。	表現する内容についてかんがえようカードをもとに活動を振り返っている。
	11	・表現する内容を考える	・学習カードや写真で活動を振り返ることができるよう支援する。 ・曖昧なことについては、もう一度見たり聞いたりして確認できるようにする。	(学習カード4) 表現する内容について考え、分からないことについては再度確認している。
	12	・必要なものを作る	・必要な材料や道具について話し合えるようにする。 ・絵や小道具などの作品のできばえについては、完成度を求めず、表現したいことが分かればよいとする。	(行動観察) 問題が起きたときには解決方法を考え、解決しようとしている。
	13	・練習する	・疑問や困ったことが起こったときは、「こうしようカード」の視点をもって解決の方法などが思い浮かぶようにする。	(行動観察) 問題が起きたときには解決方法を考え、解決しようとしている。
	14	・練習する	・お互いの作品を紹介し合い、「こうしようカード」の視点をもってお互いのよさを認めたり、アドバイスしたりできるようにする。	問題が起きたときには解決方法を考え、解決しようとしている。
	15	・練習する	・「おたすけカード」(動作や態度・声の大きさなど)の視点をもって、リハーサルできるようにする。	問題が起きたときには解決方法を考え、解決しようとしている。
	16	・リハーサルをする	・良いところや、工夫していることについて賞賛し、意欲や自信がもてるようにする。	問題が起きたときには解決方法を考え、解決しようとしている。
まとめる 2時間	17	・発表会を開く	・「おたすけカード」の視点をもって、その場所探検に行っていない人にもよく分かるように、自分の伝えたいことが表現できるようにする。 ・発表を見るときは、友達が気付いたことについて知ることができたかどうか評価カードに記入できるようにする。	自分の役割を自覚して、表現している。 (行動観察) ○視点をもって発表を聞いている。(カード)
	18	・表現活動について振り返る (見通し3)	・「かんがえようカード」で自分の活動について振り返ることができるようにする。 ・考えが深められるように、自分についての気付きや、次の学習への意欲など、かんがえようカードをもとに話し合う。 ・お礼の手紙を書く。	活動を振り返り、自分の活動について記述している。(カード) 次の学習への思いをもっている。

研究の結果と考察

1 表現方法の選択の場面で、「探検したことをみんなに伝えよう」と投げかけ、「できるかなカード」(表現方法の特色)の視点をもとにどんな方法で伝えるかを話し合い、表現方法を選択したことは、対象とのかかわりや気付きを表現する活動についての見通しと意欲をもつのに有効であったか

学校探検を振り返る活動の中で、探検して驚いたり発見したりしたことを母親に伝えたいという声がクラスからあがった。そこで、教師から「探検したことをお家の人に伝えよう」と投げかけ、どんな方法で伝えたらよいか話し合うことになった。

A男は友達の意見を熱心に聞き、ペープサートについて質問した。そこで「できるかなカード」で劇、ペープサート、紙芝居、探検クイズ、探検ニュース、などの表現方法の特色を視点として示した。公仕の仕事について探検したA男は、カードを見ながら「コンテナを運ぶところや花の水やりをしているところを伝えたいから、劇かペープサートがいい。コンテナや植木鉢も作って動かしたいから、ペープサートにしたい」と言ったので、ペープサートは公仕の働いているところが表現できることを伝え支援すると、A男はコンテナと植木鉢、公仕の人形にはジョーロを貼り付けて作り、割りばしを付けて動かそうとつぶやき、表現方法のイメージが湧いた様子だった。「早くペープサートを作りたい」と言って意欲的な様子が見られた。

B子は、「できるかなカード」を見ながら、「メンバーが3人だから、劇やペープサートよりニュース番組にしてアナウンサーになりたいな。マイクでインタビューしようよ」と友達に説明していた。また、「できるかなカード」の探検ニュースの視点を見て、「絵を描いて紙芝居に

するより、もっと写真を撮ってきてみんなに見せよう」と言った。これらのことから「できるかなカード」の視点をもとに表現方法の見通しと意欲をもつことができたと考える。

他の児童も「できるかなカード」の視点をもとに、これまで見たことのある紙芝居や兄弟から教えてもらったことのある表現方法を思い出し、自分なりの見通しをもって選択していた。班での話し合いの結果、ペープサート、探検クイズ、探検ニュースをそれぞれ2つの班が選択し、紙芝居を1つの班が選択した。

このように、「できるかなカード」で表現方法の特色を視点として紹介し支援したことで、様々な表現方法があることに気付き、自分の学びを表現したい思いがふくらみ、自分にもできそうな活動の見通しと表現活動の意欲をもつのに有効であったと考える。

2 「かんがえようカード」(表現する内容)「こうしようカード」(新たな気付きを促す)の視点をもとに表現する内容を話し合ったり学びを振り返ったりして、友達と一緒に制作したことは、対象と自分とのかかわりについての気付きを深めたり、自分や友達のよさに気付いたりするのに有効であったか

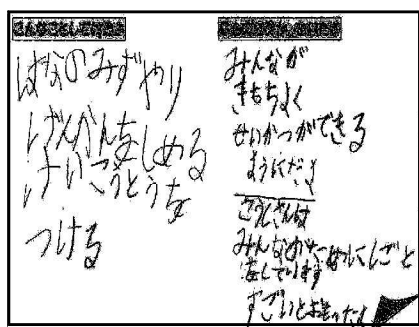
表現する内容を考える場面では、「分かりやすく伝えるためには何を伝えればいいだろうか」と投げかけた。「かんがえようカード」では「こんなものがあったよ」「なににつかうかせんせいにきいたよ」「こんなことしていたよ」といった視点を掲示用カードと学習カードで示した。また、学校探検しながら教師や児童が撮った写真のほか、探検でかかわりをもった先生や公仕の仕事の様子が分かる写真を用意し、活動を振り返ることができるようにした。子どもは、これらの写真と、これまでの活動の中で学習カードに記した言葉や絵をもとに学びを振り返り、視点にそって探検してびっくりしたことを「かんがえようカード」に記入していった。

「こうしようカード」では「こんなことをおもったよ」「はなしをきいたせんせいにこんなことをつたえたいよ」といった視点を示した。学習カードや写真をもとに、探検したときの様子はどうか思い出せるよう言葉がけの支援をして、カードに記入できるようにした。カードに記入されたことが、そのままニュース記事の原稿になったり、クイズの答えになったり、劇のせりふや紙芝居の物語になったりするようにした。

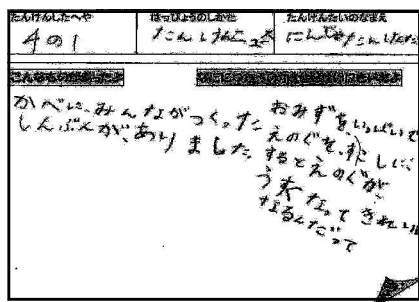
A男は質問したいことがあったため、再び探検に出かけて聞いてこようと投げかけ支援したところ、うれしそうに公仕のところへ向かった。A男は公仕の仕事について話してもらったことをしっかりとカードに記入した。また「公仕さんは、みんなのために仕事をしています。すごいと思います」と気付いたことを書いていた。ペープサートの練習の時は、公仕との会話の様子を思い出せるように質問して支援していくと、A男は公仕とのやりとりの様子を話したので、それらのかかわりも表現できるよう投げかけ支援した。A男はペープサートを動かしながら、あいさつやお礼の様子も表現していた。このようなことから、カードの視点をもとに表現活動を支援したことにより、対象とのかかわりについての気付きを深めることができたと考える。

B子は「こうしようカード」の視点をもって再び探検に出かけたところ、上級生が学習している姿や掲示物などに気付き、担任の先生に質問をしてきた。みんなに見せる写真についてやりとりして支援していると、表現するニュースに関係のある写真が必要なことに気付き、もう一度出かけニュースに関係のある写真を撮ってきた。また、「かんが

資料1 A男のかんがえようカード



資料2 B子のかんがえようカード



練習の場面では、「こうしようカード」で「○○がとってもいいよ」「○○するととってもいいよ」という視点を掲示用カードで示し、話し合いができるようにした。A男は絵を描くことがあまり得意ではなかったため、自分の思い通りに表現することができなかったが、A男が集中して活動していたことを賞賛し、友達にペープサート班のよいところやアドバイスするところを発言してもらったところ、「絵が大きく描けている」「もっと大きい声の方がいいよ」といった意見が出た。A男は友達の話をもっと聞いていた。その後、せりふを何度も練習し自信をもって発表できるようになった。このようなことから、表現活動をする中で視点をもって自分の考えと比較検討しながら意見を出し合うことにより、自分のよさや友達のよさに気付くことができたと考える。

お家の人を招待して発表会を開いた後で、「がんばったよカード」では「せんせいやこうしさんにあったらどうするかな?」「おしごとしているせんせいやこうしさんへ」という視点を学習カードで示した。カードに記入したことをもとに意見を

[illegible]

研究のまとめと今後の課題

- 6 -